

月次改訂

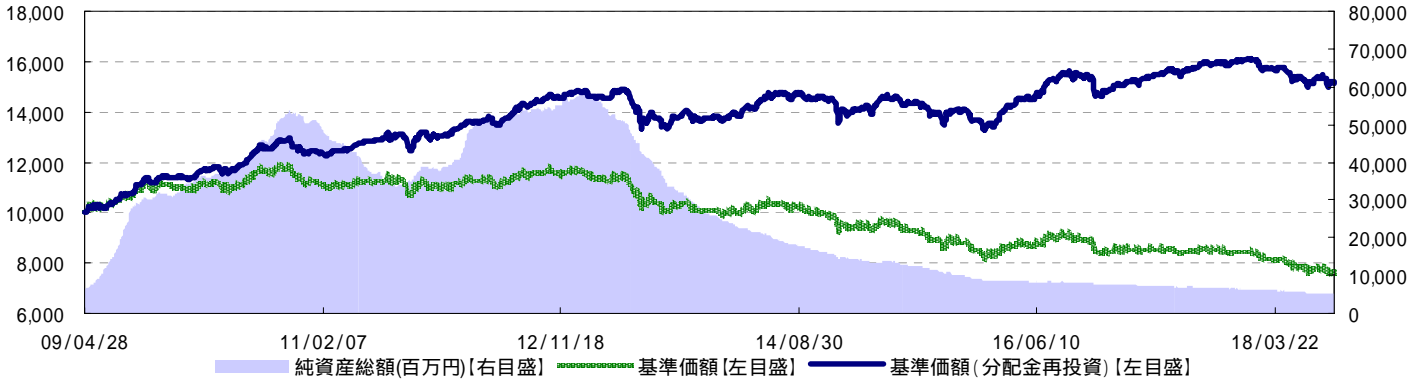
2018 / 08

三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)

追加型投信/海外/債券

運用状況等

基準価額の推移



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬控除後の値です。
- ・信託報酬率については、後記の「ファンドの費用・税金」に記載しています。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

ファンドの現況

	2018/08/31	前月末	前月末比
基準価額	7,573円	7,795円	-222円
純資産総額(百万円)	5,102	5,332	-230

	基準価額	日付
設定来高値	11,848円	2010/10/14
設定来安値	7,573円	2018/08/31

分配金実績(税引前)

設定来累計		
6,845円		
第110期 (18/08/20)	第109期 (18/07/20)	第108期 (18/06/20)
45円	45円	45円
第107期 (18/05/21)	第106期 (18/04/20)	第105期 (18/03/20)
45円	45円	45円
第104期 (18/02/20)	第103期 (18/01/22)	第102期 (17/12/20)
45円	45円	45円
第101期 (17/11/20)	第100期 (17/10/20)	第99期 (17/09/20)
45円	45円	45円

・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

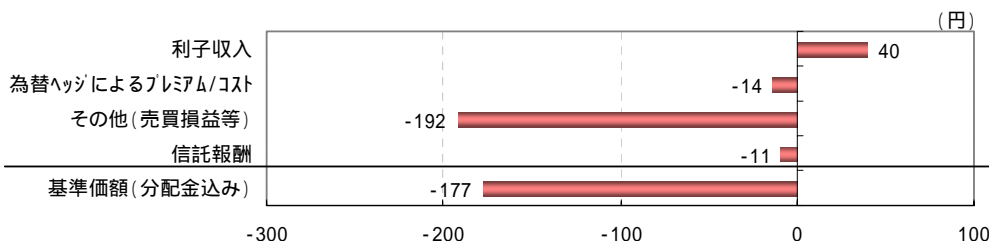
騰落率

ファンド	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-2.27%	-2.15%	-4.23%	-4.83%	7.78%	50.91%

- ・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。
- ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。

月間の基準価額の変動要因分析(概算値)

下図の数値の一部はシミュレーションを用いているため、実際のファンドの数値とは異なります。



- ・為替ヘッジによるプレミアム(金利差相当分の収益)ノコスト(金利差相当分の費用)は、「円の短期金利(円1ヵ月LIBOR) - ミドルの短期金利(米ドル1ヵ月LIBOR)」(プラスが為替ヘッジによるプレミアム、マイナスが為替ヘッジによるコスト)相当として簡便的に算出したものであり、実際の値とは異なります。
- ・その他(売買損益等)は、基準価額(分配金込み)の変動幅から利子収入、為替ヘッジによるプレミアムノコスト、信託報酬を差し引いて算出しています。
- ・四捨五入のため全体計(基準価額(分配金込み)の変動幅)と内訳の合計が相違することがあります。

上図の変動要因分析は、組入債券の値動き等が基準価額に与えた影響等をご理解いただくために簡便的に計算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。 基準価額および分配金は1万口当たりです。

後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

月次改訂

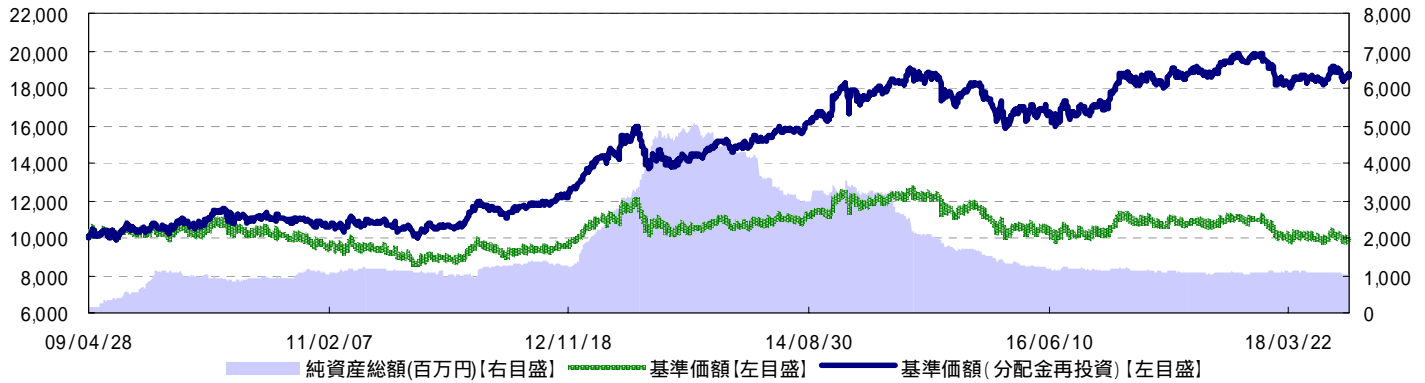
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)

2018 / 08

追加型投信/海外/債券

運用状況等

基準価額の推移



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬控除後の値です。
- ・信託報酬率については、後記の「ファンドの費用・税金」に記載しています。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

ファンドの現況

	2018/08/31	前月末	前月末比
基準価額	9,872円	10,107円	-235円
純資産総額(百万円)	1,032	1,066	-34

	基準価額	日付
設定来高値	12,580円	2015/05/29
設定来安値	8,500円	2011/10/05

分配金実績(税引前)

設定来累計		
6,600円		
第110期 (18/08/20)	第109期 (18/07/20)	第108期 (18/06/20)
60円	60円	60円
第107期 (18/05/21)	第106期 (18/04/20)	第105期 (18/03/20)
60円	60円	60円
第104期 (18/02/20)	第103期 (18/01/22)	第102期 (17/12/20)
60円	60円	60円
第101期 (17/11/20)	第100期 (17/10/20)	第99期 (17/09/20)
60円	60円	60円

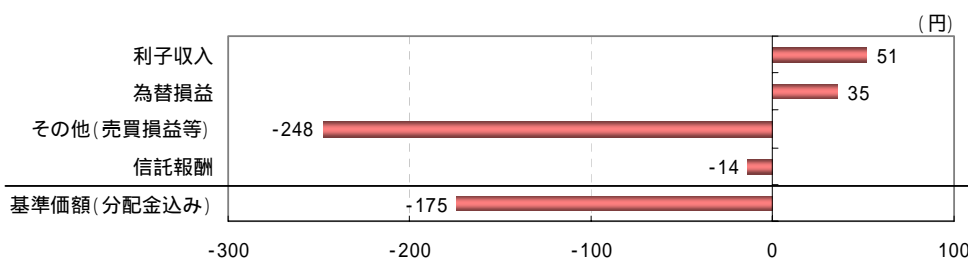
・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

騰落率

ファンド	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-1.73%	0.70%	0.41%	-1.81%	4.28%	86.15%

- ・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。
- ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。

月間の基準価額の変動要因分析(概算値)



- ・為替損益は、米ドルの円に対する為替評価損益の概算値です。
- ・その他(売買損益等)は、基準価額(分配金込み)の変動幅から利子収入、為替損益、信託報酬を差し引いて算出しています。
- ・四捨五入のため全体計(基準価額(分配金込み)の変動幅)と内訳の合計が相違することがあります。
- ・当ファンドは、為替ヘッジによるプレミアム(金利差相当分の収益)/コスト(金利差相当分の費用)は発生しません。

上図の変動要因分析は、組入債券の値動き、為替変動等が基準価額に与えた影響等をご理解いただくために簡便的に計算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。 基準価額および分配金は1万口当たりです。

後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

月次改訂

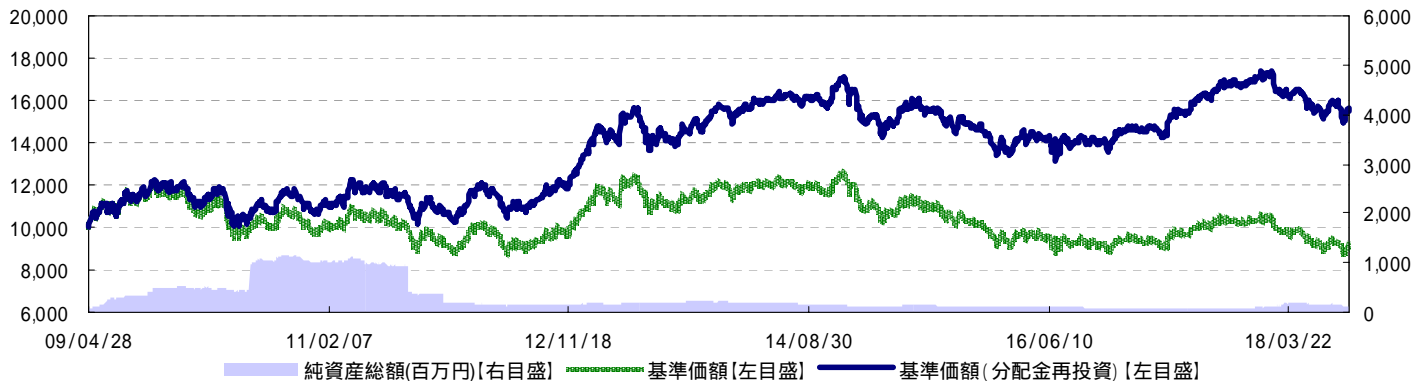
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース> (毎月分配型)

2018 / 08

追加型投信/海外/債券

運用状況等

基準価額の推移



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬控除後の値です。
- ・信託報酬率については、後記の「ファンドの費用・税金」に記載しています。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

ファンドの現況

	2018/08/31	前月末	前月末比
基準価額	9,009円	9,281円	-272円
純資産総額(百万円)	108	166	-58

	基準価額	日付
設定来高値	12,514円	2014/12/01
設定来安値	8,717円	2012/06/04

分配金実績(税引前)

設定来累計		
5,620円		
第110期 (18/08/20)	第109期 (18/07/20)	第108期 (18/06/20)
50円	50円	50円
第107期 (18/05/21)	第106期 (18/04/20)	第105期 (18/03/20)
50円	50円	50円
第104期 (18/02/20)	第103期 (18/01/22)	第102期 (17/12/20)
50円	50円	50円
第101期 (17/11/20)	第100期 (17/10/20)	第99期 (17/09/20)
50円	50円	50円

・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

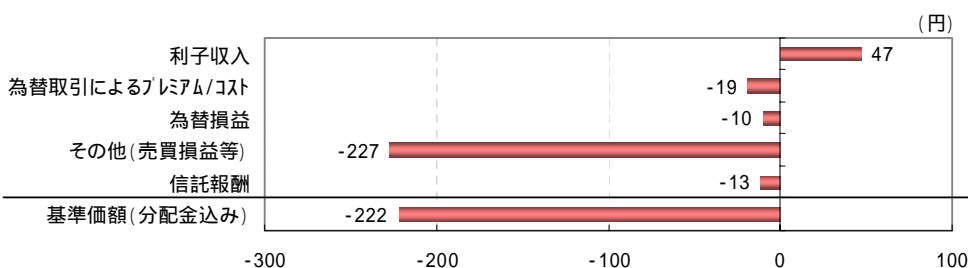
騰落率

ファンド	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-2.38%	0.38%	-5.66%	-6.28%	2.40%	55.10%

- ・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。
- ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。

月間の基準価額の変動要因分析(概算値)

下図の数値の一部はシミュレーションを用いているため、実際のファンドの数値とは異なります。



上図の変動要因分析は、組入債券の値動き、為替変動等が基準価額に与えた影響等をご理解いただくために簡便的に計算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません。

- ・為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益) / コスト(金利差相当分の費用)は、「ユーロの短期金利(ユーロ1ヵ月LIBOR) - ミドルの短期金利(米ドル1ヵ月LIBOR)」(プラスが為替取引によるプレミアム、マイナスが為替取引によるコスト)相当として簡便的に算出したものであり、実際の値とは異なります。
- ・為替損益は、ユーロの円に対する為替評価損益の概算値です。
- ・その他(売買損益等)は、基準価額(分配金込み)の変動幅から利子収入、為替取引によるプレミアム/コスト、為替損益、信託報酬を差し引いて算出しています。
- ・四捨五入のため全体計(基準価額(分配金込み)の変動幅)と内訳の合計が相違することがあります。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。 基準価額および分配金は1万口当たりです。

後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

月次改訂

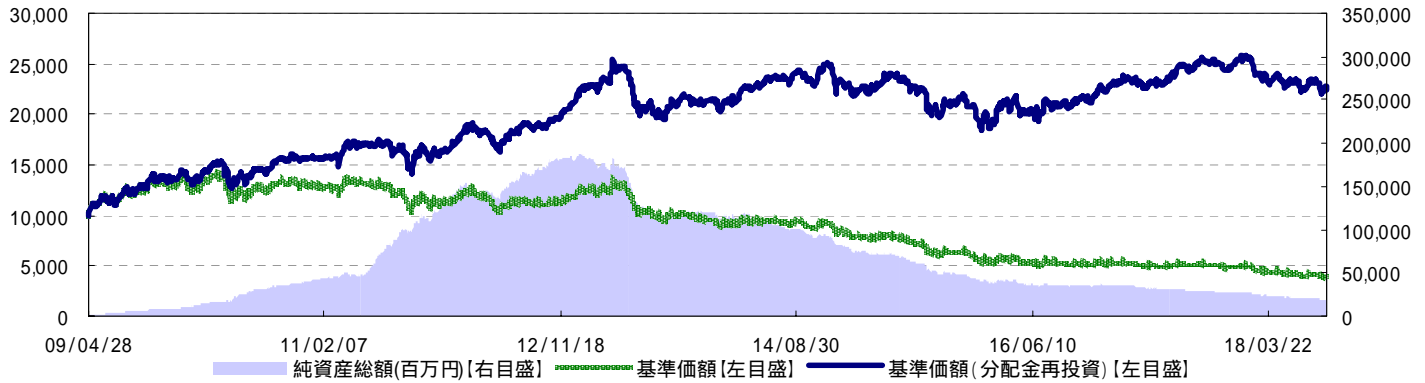
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)

2018 / 08

追加型投信/海外/債券

運用状況等

基準価額の推移



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬控除後の値です。
- ・信託報酬率については、後記の「ファンドの費用・税金」に記載しています。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

ファンドの現況

	2018/08/31	前月末	前月末比
基準価額	3,913円	4,099円	-186円
純資産総額(百万円)	19,619	20,766	-1,147

	基準価額	日付
設定来高値	14,096円	2010/04/15
設定来安値	3,880円	2018/08/20

分配金実績(税引前)

設定来累計		
15,670円		
第110期 (18/08/20)	第109期 (18/07/20)	第108期 (18/06/20)
50円	50円	50円
第107期 (18/05/21)	第106期 (18/04/20)	第105期 (18/03/20)
50円	50円	70円
第104期 (18/02/20)	第103期 (18/01/22)	第102期 (17/12/20)
70円	70円	70円
第101期 (17/11/20)	第100期 (17/10/20)	第99期 (17/09/20)
70円	70円	70円

・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

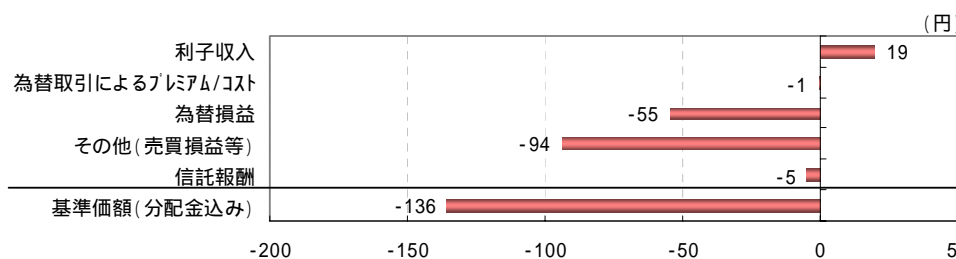
騰落率

ファンド	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
	-3.31%	-2.89%	-6.28%	-9.34%	7.41%	124.84%

- ・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。
- ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。

月間の基準価額の変動要因分析(概算値)

下図の数値の一部はシミュレーションを用いているため、実際のファンドの数値とは異なります。



- ・為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益) / コスト(金利差相当分の費用)は、「豪ドルの短期金利(銀行手形1ヵ月の利回り) - 米ドルの短期金利(米ドル1ヵ月LIBOR)」(プラスが為替取引によるプレミアム、マイナスが為替取引によるコスト)相当として簡便的に算出したものであり、実際の値とは異なります。
- ・為替損益は、豪ドルの円に対する為替評価損益の概算値です。
- ・その他(売買損益等)は、基準価額(分配金込み)の変動幅から利息収入、為替取引によるプレミアム/コスト、為替損益、信託報酬を差し引いて算出しています。
- ・四捨五入のため全体計(基準価額(分配金込み)の変動幅)と内訳の合計が相違することがあります。

上図の変動要因分析は、組入債券の値動き、為替変動等が基準価額に与えた影響等をご理解いただくために簡便的に計算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。 基準価額および分配金は1万口当たりです。

後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

月次改訂

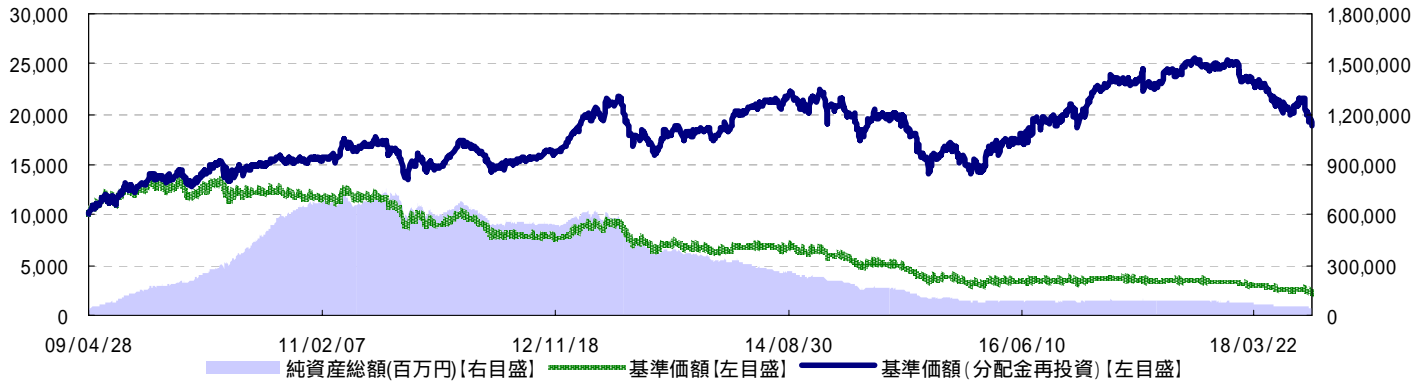
2018 / 08

三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)

追加型投信/海外/債券

運用状況等

基準価額の推移



- ・基準価額、基準価額 (分配金再投資) は設定日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額 (分配金再投資) は、信託報酬控除後の値です。
- ・信託報酬率については、後記の「ファンドの費用・税金」に記載しています。
- ・基準価額 (分配金再投資) は、分配金 (税引前) を再投資したものと計算しています。

ファンドの現況

	2018/08/31	前月末	前月末比
基準価額	2,250円	2,594円	-344円
純資産総額(百万円)	47,394	55,254	-7,860

	基準価額	日付
設定来高値	13,444円	2009/10/19
設定来安値	2,250円	2018/08/31

分配金実績 (税引前)

設定来累計		
14,770円		
第110期 (18/08/20)	第109期 (18/07/20)	第108期 (18/06/20)
30円	30円	30円
第107期 (18/05/21)	第106期 (18/04/20)	第105期 (18/03/20)
30円	30円	50円
第104期 (18/02/20)	第103期 (18/01/22)	第102期 (17/12/20)
50円	50円	50円
第101期 (17/11/20)	第100期 (17/10/20)	第99期 (17/09/20)
50円	50円	50円

・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

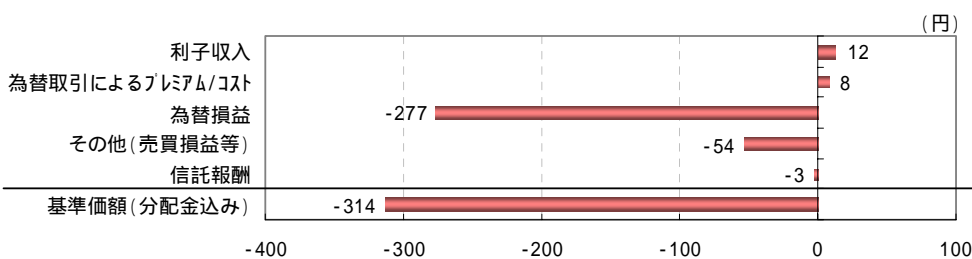
騰落率

ファンド	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
	-12.16%	-9.14%	-20.64%	-22.72%	11.41%	88.88%

- ・ファンドの騰落率は、分配金 (税引前) を再投資したものと計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。
- ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。

月間の基準価額の変動要因分析 (概算値)

下図の数値の一部はシミュレーションを用いているため、実際のファンドの数値とは異なります。



- ・為替取引によるプレミアム (金利差相当分の収益) / コスト (金利差相当分の費用) は、「ブラジルレアルの短期金利 (JPモルガンELMI+のブラジル利回り) - 米ドルの短期金利 (米ドル1ヵ月LIBOR)」 (プラスが為替取引によるプレミアム、マイナスが為替取引によるコスト) 相当として簡便的に算出したものであり、実際の値とは異なります。
- ・為替損益は、ブラジルレアルの円に対する為替評価損益の概算値です。
- ・その他 (売買損益等) は、基準価額 (分配金込み) の変動幅から利子収入、為替取引によるプレミアム / コスト、為替損益、信託報酬を差し引いて算出しています。
- ・四捨五入のため全体計 (基準価額 (分配金込み) の変動幅) と内訳の合計が相違することがあります。

上図の変動要因分析は、組入債券の値動き、為替変動等が基準価額に与えた影響等をご理解いただくために簡便的に計算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。 基準価額および分配金は1万口当たりです。

後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

月次改訂

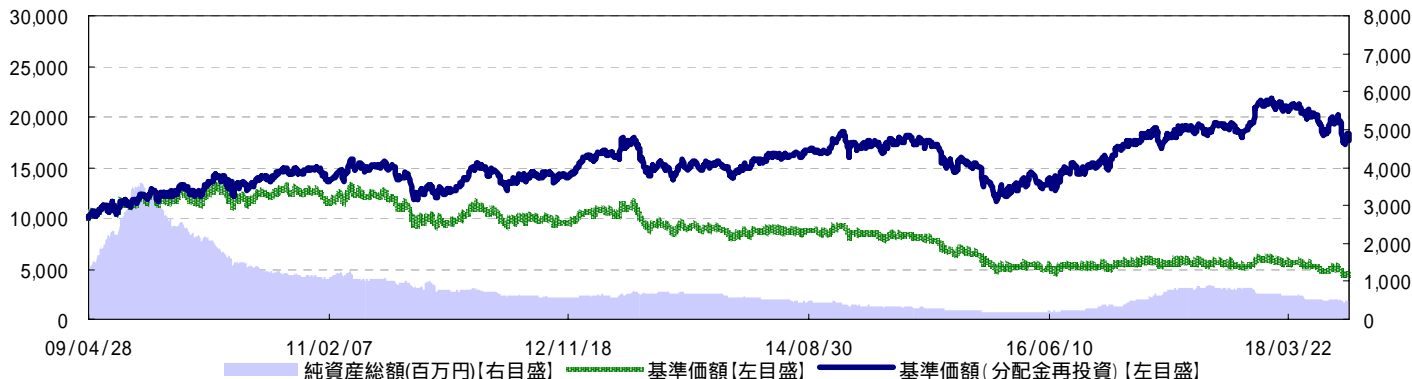
2018 / 08

三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース> (毎月分配型)

追加型投信/海外/債券

運用状況等

基準価額の推移



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬控除後の値です。
- ・信託報酬率については、後記の「ファンドの費用・税金」に記載しています。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

ファンドの現況

	2018/08/31	前月末	前月末比
基準価額	4,374円	5,030円	-656円
純資産総額(百万円)	461	534	-73

	基準価額	日付
設定来高値	13,156円	2010/04/06
設定来安値	4,303円	2018/08/20

分配金実績(税引前)

設定来累計		
11,300円		
第110期 (18/08/20)	第109期 (18/07/20)	第108期 (18/06/20)
70円	70円	70円
第107期 (18/05/21)	第106期 (18/04/20)	第105期 (18/03/20)
70円	70円	70円
第104期 (18/02/20)	第103期 (18/01/22)	第102期 (17/12/20)
70円	70円	70円
第101期 (17/11/20)	第100期 (17/10/20)	第99期 (17/09/20)
70円	70円	70円

・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

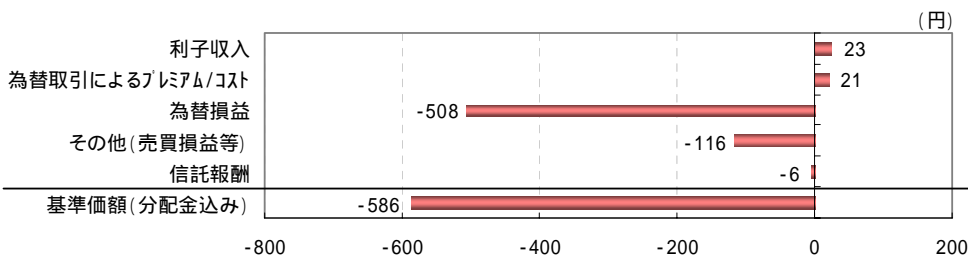
騰落率

ファンド	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-11.63%	-12.86%	-17.72%	-8.30%	10.99%	76.05%

- ・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。
- ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。

月間の基準価額の変動要因分析(概算値)

下図の数値の一部はシミュレーションを用いているため、実際のファンドの数値とは異なります。



- ・為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益) / コスト(金利差相当分の費用)は、「南アフリカランドの短期金利(JPモルガンELMI+の南アフリカ利回り) - ミドルの短期金利(米ドル1ヵ月LIBOR)」(プラスが為替取引によるプレミアム、マイナスが為替取引によるコスト)相当として簡便的に算出したものであり、実際の値とは異なります。
- ・為替損益は、南アフリカランドの円に対する為替評価損益の概算値です。
- ・その他(売買損益等)は、基準価額(分配金込み)の変動幅から利息収入、為替取引によるプレミアム/コスト、為替損益、信託報酬を差し引いて算出しています。
- ・四捨五入のため全体計(基準価額(分配金込み)の変動幅)と内訳の合計が相違することがあります。

上図の変動要因分析は、組入債券の値動き、為替変動等が基準価額に与えた影響等をご理解いただくために簡便的に計算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。 基準価額および分配金は1万口当たりです。

後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

月次改訂

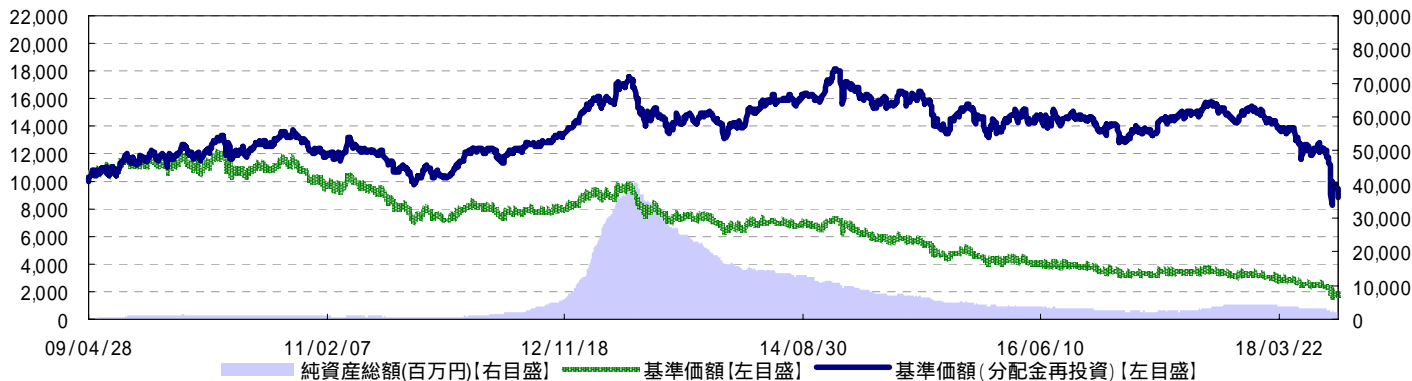
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)

2018 / 08

追加型投信/海外/債券

運用状況等

基準価額の推移



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬控除後の値です。
- ・信託報酬率については、後記の「ファンドの費用・税金」に記載しています。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

ファンドの現況

	2018/08/31	前月末	前月末比
基準価額	1,708円	2,404円	-696円
純資産総額(百万円)	2,117	3,122	-1,006

	基準価額	日付
設定来高値	12,042円	2010/04/16
設定来安値	1,641円	2018/08/14

分配金実績(税引前)

設定来累計		
10,860円		
第110期 (18/08/20)	第109期 (18/07/20)	第108期 (18/06/20)
30円	30円	30円
第107期 (18/05/21)	第106期 (18/04/20)	第105期 (18/03/20)
30円	30円	40円
第104期 (18/02/20)	第103期 (18/01/22)	第102期 (17/12/20)
40円	40円	40円
第101期 (17/11/20)	第100期 (17/10/20)	第99期 (17/09/20)
40円	40円	40円

・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

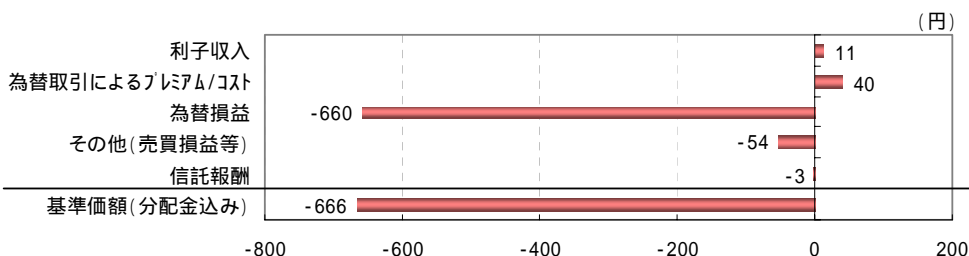
騰落率

ファンド	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
	-27.80%	-30.53%	-39.49%	-43.52%	-39.61%	-12.36%

- ・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。
- ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。

月間の基準価額の変動要因分析(概算値)

下図の数値の一部はシミュレーションを用いているため、実際のファンドの数値とは異なります。



- ・為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益) / コスト(金利差相当分の費用)は、「トルコリラの短期金利(JPモルガンELMI+のトルコ利回り) - ミドルの短期金利(米ドル1ヵ月LIBOR)」(プラスが為替取引によるプレミアム、マイナスが為替取引によるコスト)相当として簡便的に算出したものであり、実際の値とは異なります。
- ・為替損益は、トルコリラの円に対する為替評価損益の概算値です。
- ・その他(売買損益等)は、基準価額(分配金込み)の変動幅から利子収入、為替取引によるプレミアム / コスト、為替損益、信託報酬を差し引いて算出しています。

上図の変動要因分析は、組入債券の値動き、為替変動等が基準価額に与えた影響等をご理解いただくために簡便的に計算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・四捨五入のため全体計(基準価額(分配金込み)の変動幅)と内訳の合計が相違することがあります。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。 基準価額および分配金は1万口当たりです。

後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

月次改訂

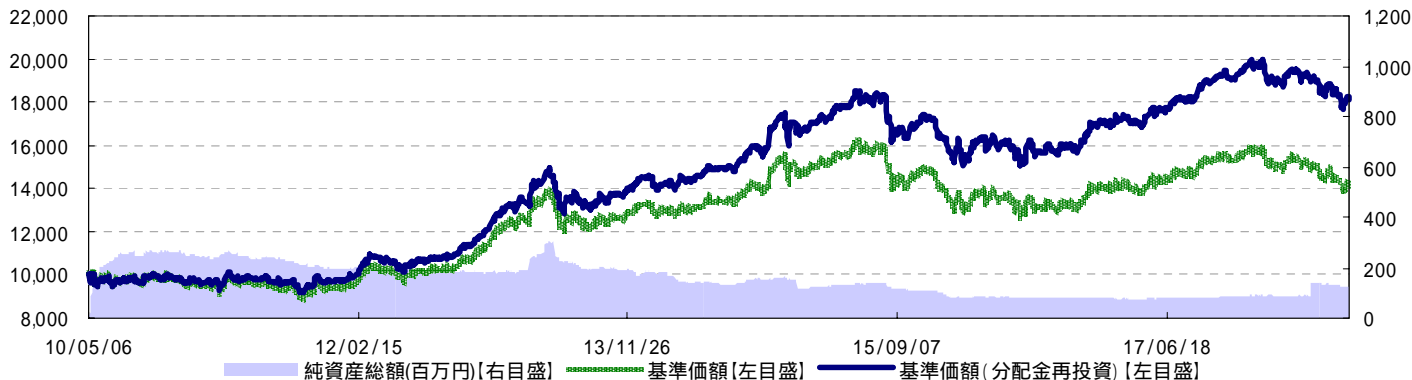
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<中国元コース> (毎月分配型)

2018 / 08

追加型投信/海外/債券

運用状況等

基準価額の推移



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬除後の値です。
- ・信託報酬率については、後記の「ファンドの費用・税金」に記載しています。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

ファンドの現況

	2018/08/31	前月末	前月末比
基準価額	14,117円	14,448円	-331円
純資産総額(百万円)	125	129	-4

	基準価額	日付
設定来高値	16,142円	2015/05/29
設定来安値	8,865円	2011/10/05

分配金実績(税引前)

設定来累計		
3,200円		
第98期 (18/08/20)	第97期 (18/07/20)	第96期 (18/06/20)
40円	40円	40円
第95期 (18/05/21)	第94期 (18/04/20)	第93期 (18/03/20)
40円	40円	40円
第92期 (18/02/20)	第91期 (18/01/22)	第90期 (17/12/20)
40円	40円	40円
第89期 (17/11/20)	第88期 (17/10/20)	第87期 (17/09/20)
40円	40円	40円

・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

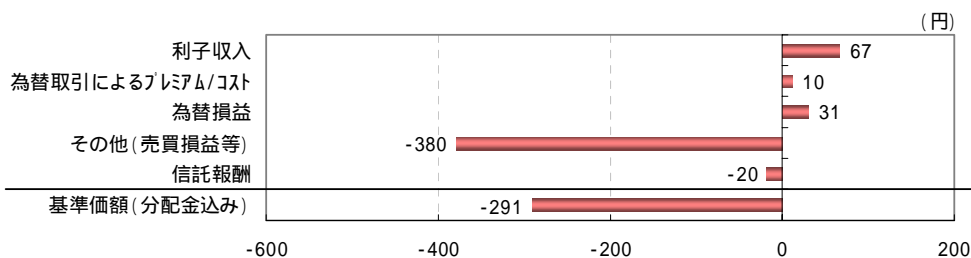
騰落率

ファンド	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
	-2.01%	-4.85%	-5.96%	-2.94%	7.95%	80.70%

- ・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。
- ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。

月間の基準価額の変動要因分析(概算値)

下図の数値の一部はシミュレーションを用いているため、実際のファンドの数値とは異なります。



上図の変動要因分析は、組入債券の値動き、為替変動等が基準価額に与えた影響等をご理解いただくために簡便的に計算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません。

- ・為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)/コスト(金利差相当分の費用)は、「中国元の短期金利(JPモルガンELMI+の中国利回り) - 米ドルの短期金利(米ドル1ヵ月LIBOR)」(プラスが為替取引によるプレミアム、マイナスが為替取引によるコスト)相当として簡便的に算出したものであり、実際の値とは異なります。
- ・為替損益は、中国元の円に対する為替評価損益の概算値です。
- ・その他(売買損益等)は、基準価額(分配金込み)の変動幅から利子収入、為替取引によるプレミアム/コスト、為替損益、信託報酬を差し引いて算出しています。
- ・四捨五入のため全体計(基準価額(分配金込み)の変動幅)と内訳の合計が相違することがあります。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。 基準価額および分配金は1万口当たりです。

後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

月次改訂

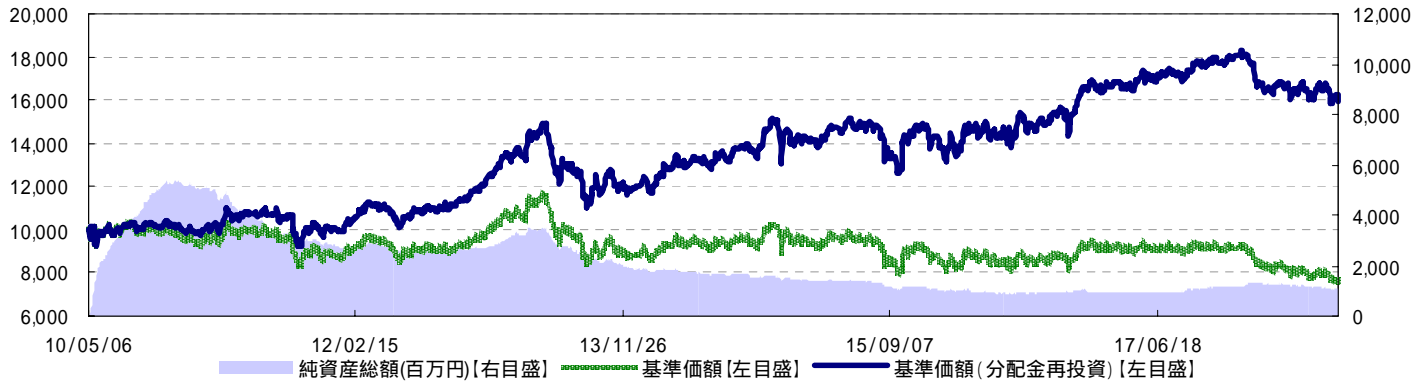
2018 / 08

三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<インドネシアルピアコース> (毎月分配型)

追加型投信/海外/債券

運用状況等

基準価額の推移



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬除後の値です。
- ・信託報酬率については、後記の「ファンドの費用・税金」に記載しています。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

ファンドの現況

	2018/08/31	前月末	前月末比
基準価額	7,547円	7,972円	-425円
純資産総額(百万円)	1,046	1,135	-89

	基準価額	日付
設定来高値	11,602円	2013/05/13
設定来安値	7,547円	2018/08/31

分配金実績(税引前)

設定来累計		
6,860円		
第98期 (18/08/20)	第97期 (18/07/20)	第96期 (18/06/20)
70円	70円	70円
第95期 (18/05/21)	第94期 (18/04/20)	第93期 (18/03/20)
70円	70円	70円
第92期 (18/02/20)	第91期 (18/01/22)	第90期 (17/12/20)
70円	70円	70円
第89期 (17/11/20)	第88期 (17/10/20)	第87期 (17/09/20)
70円	70円	70円

・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

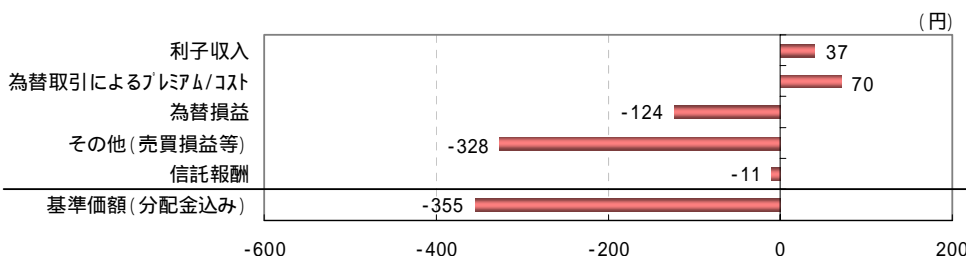
騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-4.46%	-4.03%	-5.33%	-8.21%	15.53%	59.19%

- ・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。
- ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。

月間の基準価額の変動要因分析(概算値)

下図の数値の一部はシミュレーションを用いているため、実際のファンドの数値とは異なります。



- ・為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)/コスト(金利差相当分の費用)は、「インドネシアルピアの短期金利(JPMorgan ELMi+のインドネシア利回り) - ミドルの短期金利(米ドル1ヵ月LIBOR)」(プラスが為替取引によるプレミアム、マイナスが為替取引によるコスト)相当として簡便的に算出したものであり、実際の値とは異なります。
- ・為替損益は、インドネシアルピアの円に対する為替評価損益の概算値です。
- ・その他(売買損益等)は、基準価額(分配金込み)の変動幅から利子収入、為替取引によるプレミアム/コスト、為替損益、信託報酬を差し引いて算出しています。
- ・四捨五入のため全体計(基準価額(分配金込み)の変動幅)と内訳の合計が相違することがあります。

上図の変動要因分析は、組入債券の値動き、為替変動等が基準価額に与えた影響等をご理解いただくために簡便的に計算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。 基準価額および分配金は1万口当たりです。

後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

月次改訂

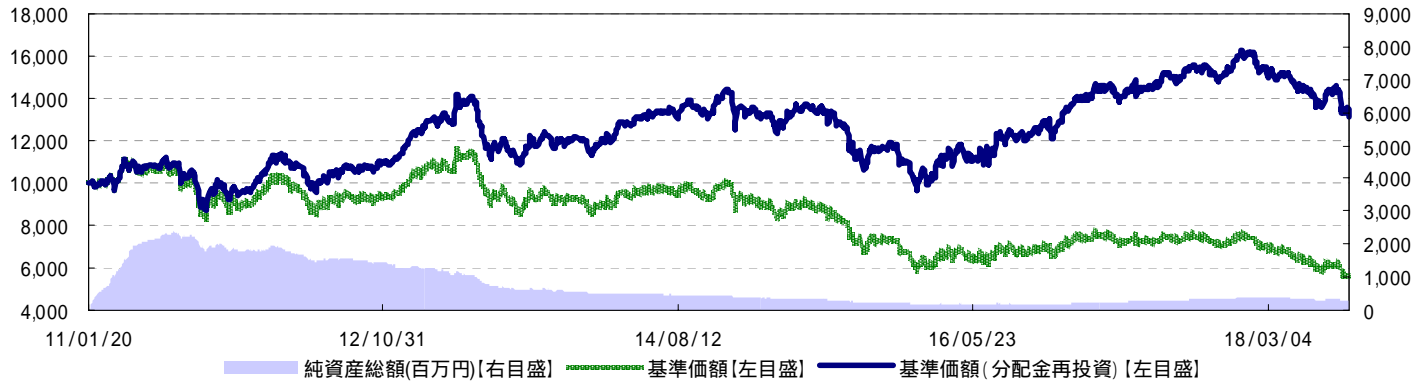
2018 / 08

三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ < 資源国バスケット通貨コース > (毎月分配型)

追加型投信/海外/債券

運用状況等

基準価額の推移



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬控除後の値です。
- ・信託報酬率については、後記の「ファンドの費用・税金」に記載しています。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

ファンドの現況

	2018/08/31	前月末	前月末比
基準価額	5,532円	6,168円	-636円
純資産総額(百万円)	286	316	-30

	基準価額	日付
設定来高値	11,659円	2013/04/12
設定来安値	5,532円	2018/08/31

分配金実績(税引前)

設定来累計		
7,120円		
第89期 (18/08/20)	第88期 (18/07/20)	第87期 (18/06/20)
80円	80円	80円
第86期 (18/05/21)	第85期 (18/04/20)	第84期 (18/03/20)
80円	80円	80円
第83期 (18/02/20)	第82期 (18/01/22)	第81期 (17/12/20)
80円	80円	80円
第80期 (17/11/20)	第79期 (17/10/20)	第78期 (17/09/20)
80円	80円	80円

・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

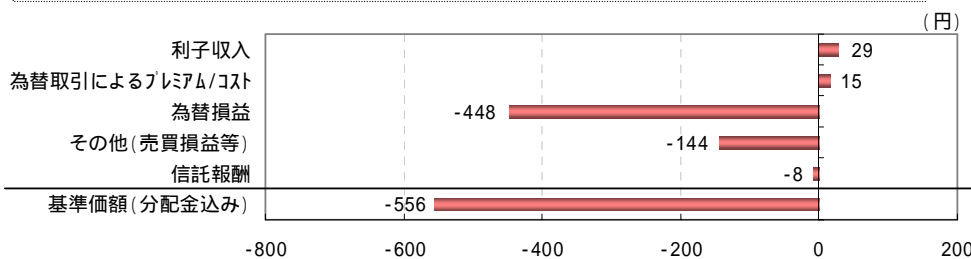
騰落率

ファンド	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
	-9.03%	-8.28%	-14.87%	-13.41%	10.91%	31.66%

- ・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。
- ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。

月間の基準価額の変動要因分析(概算値)

下図の数値の一部はシミュレーションを用いているため、実際のファンドの数値とは異なります。



・資源国バスケット通貨コースにおけるバスケット通貨とは、豪ドル、ブラジルレアル、南アフリカランドを3分の1程度ずつに組み合わせた通貨のポートフォリオです。

上図の変動要因分析は、組入債券の値動き、為替変動等が基準価額に与えた影響等をご理解いただくために簡便的に計算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません。

- ・為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益) / コスト(金利差相当分の費用)は、「資源国バスケット通貨の短期金利(豪銀行手形1ヵ月の利回り、JPモルガンELMI+のブラジル、南アフリカの利回りの平均) - ミドルの短期金利(米ドル1ヵ月LIBOR)」(プラスが為替取引によるプレミアム、マイナスが為替取引によるコスト)相当として簡便的に算出したものであり、実際の値とは異なります。
- ・為替損益は、資源国バスケット通貨の円に対する為替評価損益の概算値です。
- ・その他(売買損益等)は、基準価額(分配金込み)の変動幅から利子収入、為替取引によるプレミアム/コスト、為替損益、信託報酬を差し引いて算出しています。
- ・四捨五入のため全体計(基準価額(分配金込み)の変動幅)と内訳の合計が相違することがあります。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。 基準価額および分配金は1万口当たりです。

後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ

当ファンドが投資しているピムコ ケイマン エマージング ボンド ファンド(M)の運用状況

ピムコ ケイマン エマージング ボンド ファンド(M)の運用会社であるピムコ社の資料(現地月末基準)に基づき作成したものです。

利回り

	当月末	前月末	増減
最終利回り	7.06%	6.41%	0.65%
直接利回り	6.28%	6.00%	0.28%

- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価に基づくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・効率的な運用に資するため、デリバティブ取引を活用することがあります。

デュレーション

	当月末	前月末	増減
デュレーション	6.90年	7.06年	-0.16年

- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ・効率的な運用に資するため、デリバティブ取引を活用することがあります。

債券の格付分布

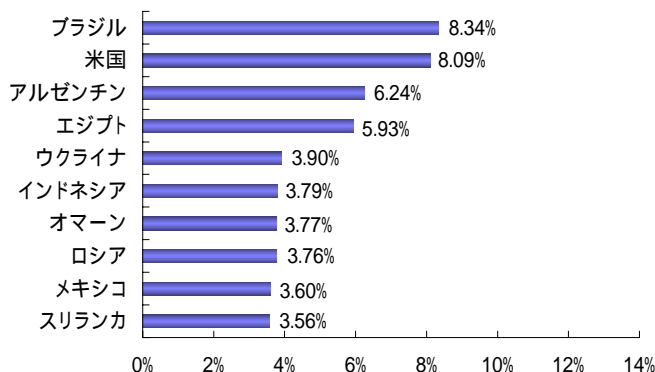
平均格付	BB+
------	-----

平均格付とは、基準日時点で当該ファンドが保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当該ファンドに係る信用格付ではありません。

格付種類	比率
AAA格	8.09%
AA格	2.22%
A格	8.01%
BBB格	25.26%
BB格以下	56.42%

- ・比率は実質組入債券評価額に対する割合です。
- ・現金同等資産(米国短期国債等)を除いた比率を表示しています。
- ・格付の振分基準は以下の通りです。
 - ・AAA格(AAA, Aaa)
 - ・AA格(AA+, AA, AA-, Aa1, Aa2, Aa3)
 - ・A格(A+, A, A-, A1, A2, A3)
 - ・BBB格(BBB+, BBB, BBB-, Baa1, Baa2, Baa3)
 - ・BB格(BB+, BB, BB-, Ba1, Ba2, Ba3)
- ・格付分布はS&P社、Moody's社のうち最も高い格付を採用しています。
- ・上記2社の格付を取得していない場合は、フィッチ・レーティングス社またはピムコ社による独自の格付を採用します。
- ・先物取引、スワップ取引、オプション取引を考慮して算出しているため、取引内容によってはマイナスの値が表示されることがあります。

国別組入比率(上位10カ国)



- ・比率は実質組入債券評価額に対する割合です。
- ・現金同等資産(米国短期国債等)を除いた比率を表示しています。
- ・効率的な運用に資するため、デリバティブ取引を活用することがあります。

組入上位10銘柄

	銘柄名	クーポン	償還日	格付	組入比率
1	BANCO DO BRASIL (CAYMAN) SR UNSEC REGS	6.000%	2020/01/22	BB	2.27%
2	SBERBANK (SB CAP SA) LPN COCO	5.500%	2024/02/26	BB+	1.93%
3	MEXICO GOVT (UMS) GLBL SR NT	5.750%	2110/10/12	A-	1.54%
4	REPUBLIC OF SRI LANKA	6.250%	2020/10/04	B+	1.50%
5	DOMINICAN REPUBLIC REGS	5.950%	2027/01/25	BB-	1.33%
6	CENT ELET BRASILEIRAS SA SR UNSEC REGS	6.875%	2019/07/30	BB-	1.29%
7	OMAN GOV INTERNTL BOND REGS	5.625%	2028/01/17	BBB-	1.22%
8	REPUBLIC OF ARGENTINA	6.875%	2021/04/22	B+	1.17%
9	COLOMBIA (REP OF) BD GLBL	7.375%	2037/09/18	BBB	1.15%
10	GAZPROM (GPN CAPITAL) SR UNSEC REGS	4.375%	2022/09/19	BBB-	1.12%

- ・比率は実質組入債券評価額に対する割合です。
- ・現金同等資産(米国短期国債等)を除いて表示しています。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。
基準価額および分配金は1万口当たりです。

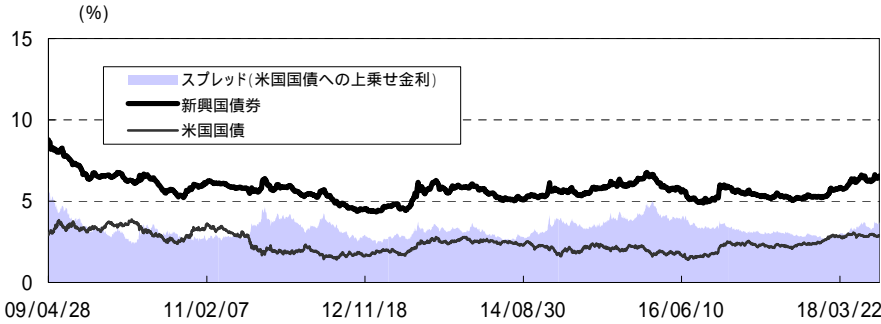
後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ

【参考】

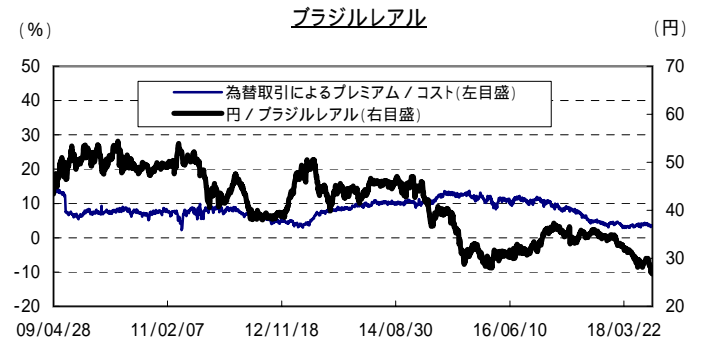
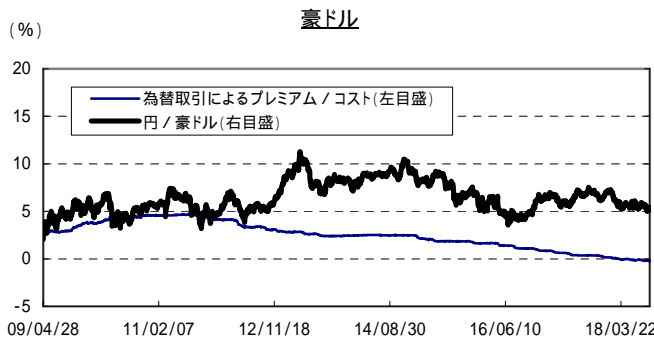
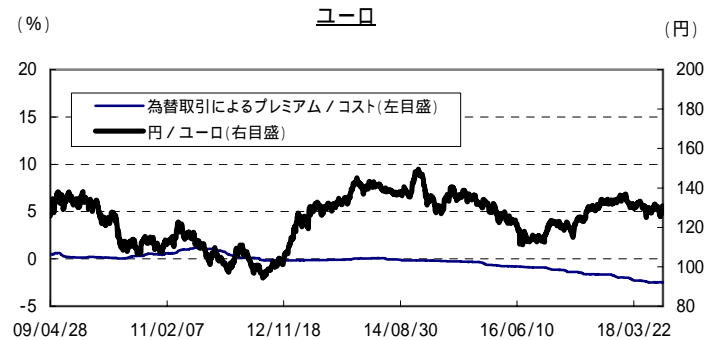
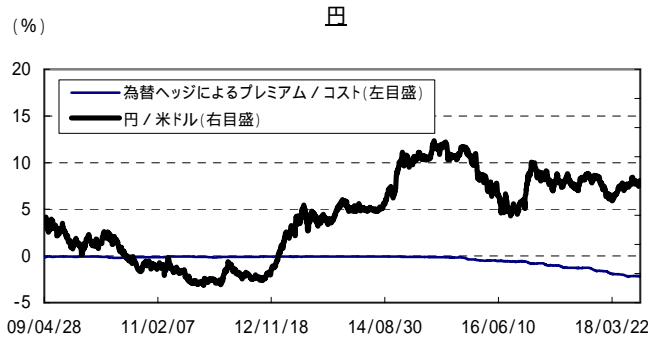
・グラフは、過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。
 ・為替取引(円コースにおいては為替ヘッジ)によるプレミアム/コストの値は、当ファンドの各コースの実際の為替取引(円コースにおいては為替ヘッジ)によるプレミアム/コストとは異なります。為替市場の状況によっては、金利差相当分以上の為替取引によるコストとなる場合があります。
 ・当ファンドの各コースの実際の利回りは新興国債券の組入比率や投資銘柄、市場環境、為替取引による比率等の要因により変動しますので、下記の利回りとは異なります。

米ドル建新興国債券と米国内債の利回り推移



・Bloombergのデータに基づき作成
 新興国債券利回り: J.P.モルガン EMBI グローバル・ダイバーシファイドの最終利回り・・・
 スプレッド: J.P.モルガン EMBI グローバル・ダイバーシファイドのスプレッド・・・
 米国内債利回り: 新興国債券の最終利回りからスプレッドを控除した利回り・・・
 ・J.P.モルガン EMBI グローバル・ダイバーシファイドとは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している米ドル建ての新興国債券および国内債に準じる債券のパフォーマンスを表す指数で、指数構成国の組入比率に調整を加えた指数です。
 ・J.P.モルガン EMBI グローバル・ダイバーシファイドは、当ファンドのベンチマークではなく、運用実績を示すものではありません。

対象通貨の為替取引(円においては為替ヘッジ)によるプレミアム/コスト(シミュレーション)と為替レート推移



・為替取引(円においては為替ヘッジ)によるプレミアム/コストは対象通貨と米ドルの短期金利の金利差(プラスが為替取引によるプレミアム、マイナスが為替取引によるコスト)相当。
 ・対象通貨と米ドルの短期金利: 米ドル、円、ユーロは1ヵ月LIBOR(DataStreamのデータに基づき作成)、豪ドルは銀行手形1ヵ月の利回り、ブラジルレアル、南アフリカランド、トルコリラ、中国元、インドネシアルピアはJ.P.モルガン E LMI+ の利回り(Bloombergのデータに基づき作成)。
 ・資源国バスケット通貨(合成通貨値)は豪ドル、ブラジルレアル、南アフリカランドの各変動率の平均を指数化(2009年4月28日 = 100)したものです。
 ・J.P.モルガン E LMI+ とは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している新興国の現地通貨建ての短期金融市場の収益率を表す指数で、主に新興国の為替のフォワード取引等をもとに算出される指数です。
 ・為替は、ブラジルレアル、中国元、トルコリラについてはBloombergの公表レートを、それ以外の通貨については三菱UFJ銀行発表の対顧客直物電信売買相場の仲値(TTM)をそれぞれ使用しております。

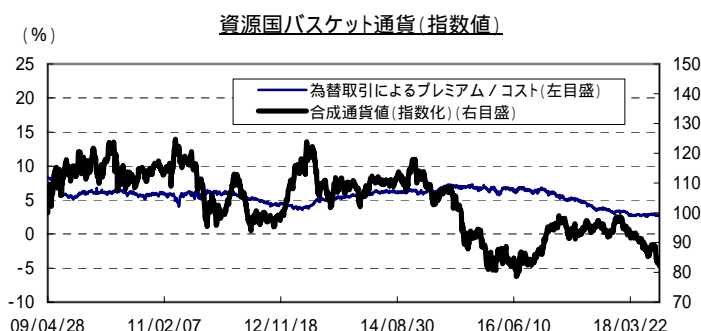
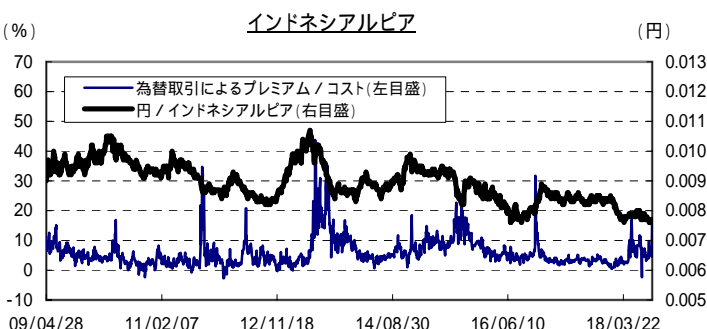
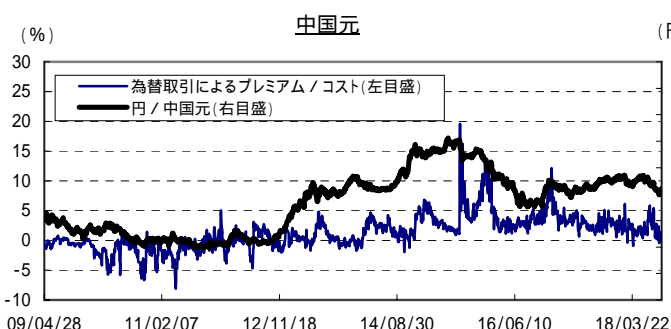
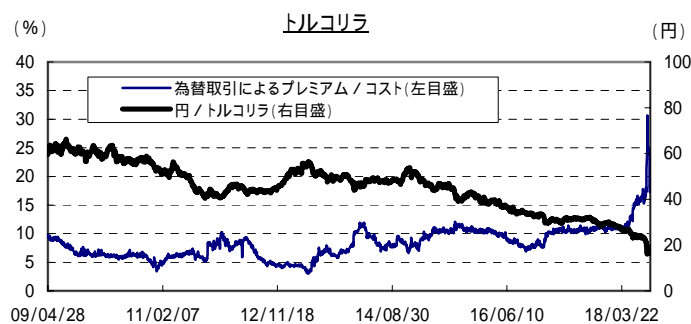
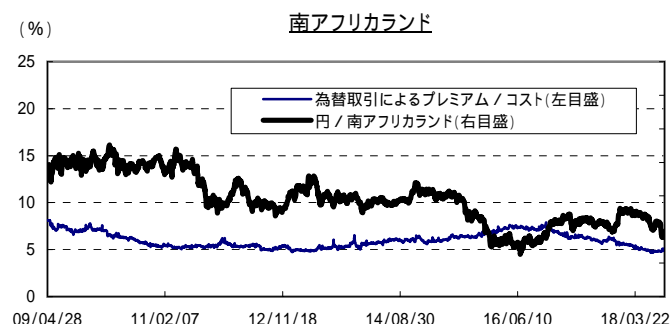
後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ

【参考】

・グラフは、過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。
 ・為替取引によるプレミアム/コストの値は、当ファンドの各コースの実際の為替取引によるプレミアム/コストとは異なります。為替市場の状況によっては、金利差相当分以上の為替取引によるコストとなる場合があります。

対象通貨の為替取引によるプレミアム/コスト(シミュレーション)と為替レート推移



・為替取引によるプレミアム/コストは対象通貨と米ドルの短期金利の金利差(プラスが為替取引によるプレミアム、マイナスが為替取引によるコスト)相当。
 ・対象通貨と米ドルの短期金利:米ドル、円、ユーロは1ヵ月LIBOR(DataStreamのデータに基づき作成)、豪ドルは銀行手形1ヵ月の利回り、ブラジルレアル、南アフリカランド、トルコリラ、中国元、インドネシアルピアはJPMorgan ELMi+の利回り(Bloombergのデータに基づき作成)。
 ・資源国バスケット通貨(合成通貨値)は豪ドル、ブラジルレアル、南アフリカランドの各変動率の平均を指数化(2009年4月28日=100)したものです。
 ・JPMorgan ELMi+とは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している新興国の現地通貨建ての短期金融市場の収益率を表す指数で、主に新興国の為替のフォワード取引等をもとに算出される指数です。
 ・為替は、ブラジルレアル、中国元、トルコリラについてはBloombergの公表レートを、それ以外の通貨については三菱UFJ銀行発表の対顧客直物電信売買相場の仲値(TTM)をそれぞれ使用しております。

JPMorgan EMBiグローバル・ダイバーシファイドは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しております。
 JPMorgan ELMi+は、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しております。

後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ

運用担当者コメント

債券市況

【エマージング債券市況は下落】

8月(7月30日～8月30日)のエマージング債券市場をJPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド(米ドルベース)で見ると、1.49%の下落となりました。米国債券市場では、トルコリラの急落やイタリアの財政赤字を巡る懸念などを背景にリスク回避姿勢が強まり、米国の長期金利は低下しました。エマージング債券市場では市場参加者のリスク回避姿勢が強まったことを受けてスプレッドは拡大し、月末時点では、3.66%(前月末比0.40%拡大)となりました。エマージング債券市況では、ベースとなる米国金利は低下したものの、スプレッドが拡大したことなどから前月末比で下落しました。国別に債券市況の動向を見ると、ベトナムやペルーなどが市場平均を上回るパフォーマンスとなった一方で、アルゼンチンやトルコなどが市場平均を下回るパフォーマンスとなりました。大手格付け会社が格付けを引き上げたベトナムが市場平均を上回るパフォーマンスとなりました。一方、為替市場が軟調となったアルゼンチンやトルコなどが市場平均を下回るパフォーマンスとなりました。

運用状況

【基準価額(分配金再投資)は全コースで下落】

当ファンドシリーズでは、外国投資信託への投資を通じてエマージング債券を高位に組み入れた運用を行いました。エマージング債券市況が下落したことなどが基準価額にマイナスに作用しました。また、円コース、米ドルコース、中国元コースを除く各通貨コースで対象通貨が対円で下落したことが基準価額に対してマイナスに作用しました。以上の運用を行った結果、全コースで基準価額(分配金再投資)は下落しました。

	円コース	米ドルコース	ユーロコース	豪ドルコース	ブラジルレアルコース	南アフリカランドコース	トルコリラコース	中国元コース	インドネシアルピアコース	資源国バスケット通貨コース
基準価額	7,573円	9,872円	9,009円	3,913円	2,250円	4,374円	1,708円	14,117円	7,547円	5,532円
月次騰落率	-2.27%	-1.73%	-2.38%	-3.31%	-12.16%	-11.63%	-27.80%	-2.01%	-4.46%	-9.03%
当月分配金	45円	60円	50円	50円	30円	70円	30円	40円	70円	80円

・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。

今後の運用方針

【投資国の選別に留意しつつ投資機会を模索】

エマージング諸国は、国際収支や外貨準備の動向、財政赤字の削減などの観点でファンダメンタルズは良好な状態にあると見ています。また、様々な資産価格が金融政策等により割高な状態にあると見られる中で、エマージング債券市場の相対的な魅力度は高いと考えています。しかし、短期的には米国を始めとする先進国の金融政策の動向、米国の保護主義的な通商政策の拡大などによる影響、主要エマージング諸国での政治イベント等について、引き続き注意が必要と思われます。こうした前提条件の下、エマージング諸国への投資に関しては、先進国の金融政策などが及ぼす影響が国によって異なると思われることから、投資国の選別が引き続き重要と考えています。従って各国の財政状況や対外収支などのファンダメンタルズに基づいて投資対象国を慎重に選別する方針です。具体的には、堅調な原油価格を背景とした国内経済の回復や相対的に高い利回り等を考慮してナイジェリアについて積極姿勢とする方針です。また、アルゼンチンは国際通貨基金(IMF)からの支援を受ける状況にあるものの、バリュエーションなどの観点から積極姿勢とする方針です。一方、マレーシアについて、相対的な割高感や中国の経済成長の鈍化の影響が懸念されることなどから消極姿勢とする方針です。また、低水準の利回りや中国の経済成長の鈍化の影響が懸念されるフィリピンについても消極姿勢とする方針です。

コメントは作成時点のものであり将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変化または運用成果等を保証するものではありません。なお、市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

収益分配金に関する留意事項

分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託から分配金が支払われるイメージ

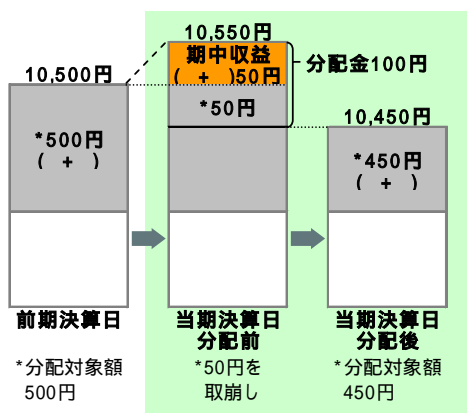


分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

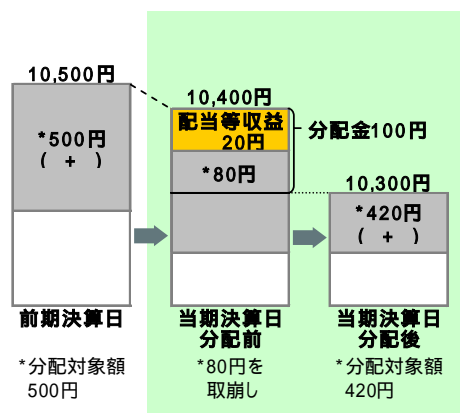
分配対象額は、経費控除後の配当等収益および経費控除後の評価益を含む売買益ならびに分配準備積立金および収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



前期決算日から基準価額が下落した場合



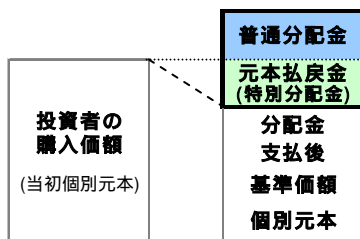
上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

分配準備積立金: 当期の経費控除後の配当等収益および経費控除後の評価益を含む売買益のうち、当期分配金として支払わなかった残りの金額をいいます。信託財産に留保され、次期以降の分配金の支払いに充当できる分配対象額となります。

収益調整金: 追加型投資信託で追加設定が行われることによって、既存の受益者への収益分配可能額が薄まらないようにするために設けられた勘定です。

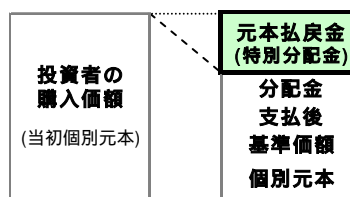
投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金: 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

購入時手数料に関する留意事項

お客さまにご負担いただく購入時手数料の具体例は以下の通りです。販売会社によっては金額指定、口数指定どちらかのみのお取扱いになる場合があります。くわしくは、販売会社にご確認ください。

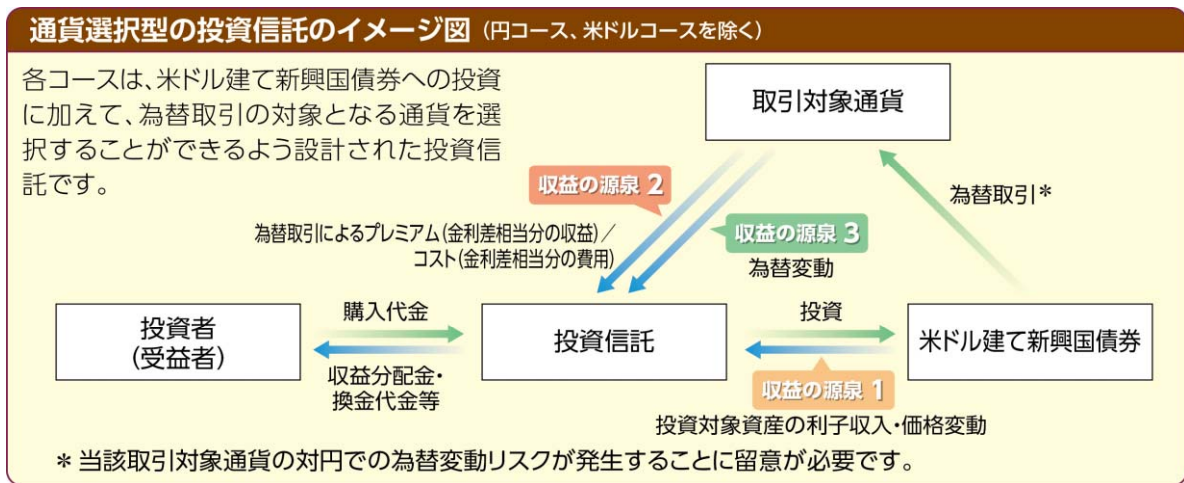
[金額を指定して購入する場合]

購入金額に購入時手数料を加えた額が指定金額となるよう購入口数を計算します。例えば、100万円の金額指定でご購入いただく場合、100万円の中から購入時手数料(税込)をご負担いただきますので、100万円全額が当該ファンドの購入金額となるものではありません。

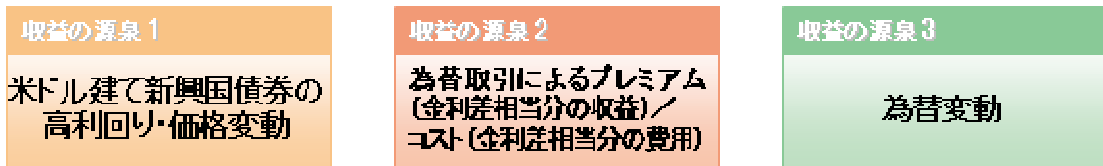
[口数を指定して購入する場合]

例えば、基準価額10,000円(1万口当たり)の時に100万口ご購入いただく場合、購入時手数料 = (10,000円 ÷ 1万口) × 100万口 × 手数料率(税込)となり、100万円と購入時手数料の合計額をお支払いいただくことになります。

通貨選択型ファンドの収益のイメージ

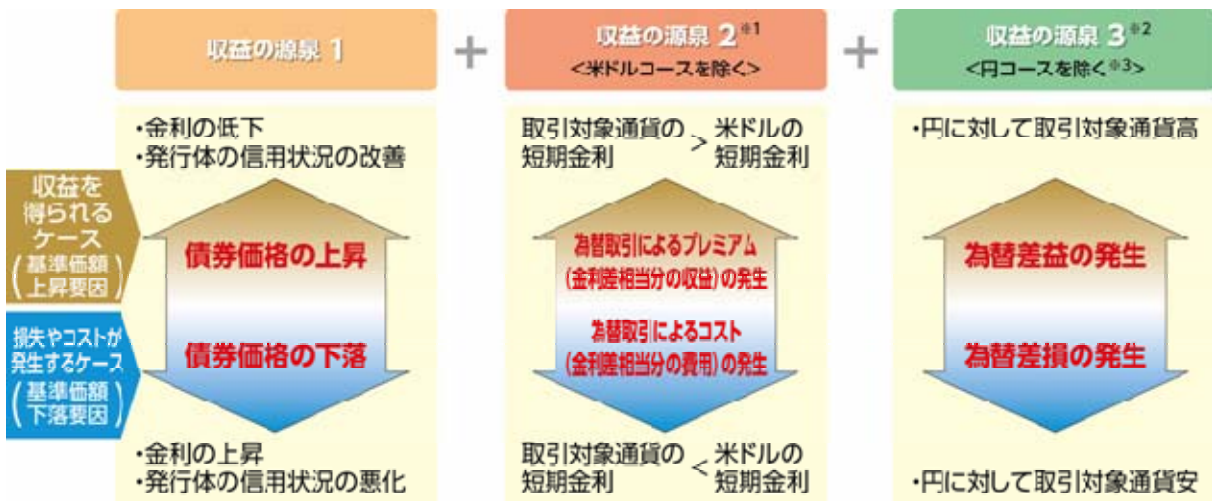


各コースの収益の源泉としては、以下の3つの要素があげられます。



各コースにおける収益の源泉と基準価額の変動要因は以下の通りです。

それぞれの収益源に相応してリスクが内在していることに留意が必要です。



- 円コースにおいては、対円での為替ヘッジによるプレミアム(金利差相当分の収益) / コスト(金利差相当分の費用)が生じます。
- 米ドルコースでは、米ドルが対円で上昇(円安)した場合は為替差益が、米ドルが対円で下落(円高)した場合は為替差損が発生します。
- 円コースでは、為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

・為替市場の状況によっては、為替ヘッジおよび為替取引によるプレミアム / コストが、金利差相当分からカイ離する場合があります。

三菱UFJ新興国債券ファンド通貨選択シリーズ

ファンドの目的・特色

「三菱UFJ新興国債券ファンド通貨選択シリーズ」は、以下の10本の通貨コースとマネーボールファンドの11本のファンドで構成される投資信託です。

<円コース>(毎月分配型)	/	<米ドルコース>(毎月分配型)
<ユーロコース>(毎月分配型)	/	<豪ドルコース>(毎月分配型)
<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	/	<南アフリカランドコース>(毎月分配型)
<トルコリラコース>(毎月分配型)	/	<中国元コース>(毎月分配型)
<インドネシアルピアコース>(毎月分配型)	/	<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)
<マネーボールファンド>		

「10本の通貨コース」について ファンドの目的

各コースは、米ドル建ての新興国債券を実質的な主要投資対象とし、高い利子収入の獲得と中長期的な信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

特色1 各コースは、主として米ドル建ての新興国債券を実質的な主要投資対象とします。

・主として円建ての外国投資信託への投資を通じて、米ドル建ての新興経済国の国債や政府機関債等に実質的な投資を行います。また、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドへの投資も行います。

特色2 各コースが投資を行う外国投資信託においては、主に米ドル建ての新興国債券に投資を行う一方で、それぞれ以下の為替対応を行います。

- *円コース(毎月分配型):原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。
「為替ヘッジによるプレミアム(金利差相当分の収益)またはコスト(金利差相当分の費用)」が生じます。
- *米ドルコース(毎月分配型):原則として対円での為替ヘッジを行わないため、米ドルの対円での為替変動の影響を大きく受けます。
「為替差益または差損」が生じます。
- *上記以外の各コース:対円での為替ヘッジを行わず、米ドル売り、各コースの対象通貨買いの為替取引を行うため、各コースの対象通貨の対円での為替変動の影響を大きく受けます。
「為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)またはコスト(金利差相当分の費用)」、「為替差益または差損」が生じます。
- ・為替取引とは、円コース、米ドルコース以外の各コースにおいて、為替予約取引等¹⁾を利用することにより、米ドル売り、各コースの対象通貨買いを行うことをいいます。為替取引を行うことにより、各コースの対象通貨ベースでの新興国債券への投資効果を追求します。
- *為替取引にあたっては、一部新興国通貨の場合、「NDF(ノン・デリバブル・フォワード)取引」を利用する場合があります。
NDF取引とは、将来の所定の期日に当該通貨の受け渡しを行わず、主に米ドルなど主要通貨で差金決済のみ可能な為替先渡し取引(デリバティブ取引)です。NDF取引では、市場の期待値(需給)や規制の影響を大きく受けて価格が形成されます。そのため、為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)/コスト(金利差相当分の費用)は、理論上期待される短期金利差から大きくカイ離する場合があります。

<為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)/コスト(金利差相当分の費用)について>

- ・各コースの取引対象通貨の短期金利が米ドルの短期金利より高い場合、当該コースでは「為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)」の獲得が期待できます。一方、各コースの取引対象通貨の短期金利が米ドルの短期金利より低い場合、当該コースでは「為替取引によるコスト(金利差相当分の費用)」が生じます。円コースにおいては、上記同様、対円での為替ヘッジによるプレミアム(金利差相当分の収益)/コスト(金利差相当分の費用)が生じます。
- *ただし、為替市場の状況によっては、為替ヘッジおよび為替取引によるプレミアム/コストが、金利差相当分からカイ離する場合があります。

<為替の変動>

- ・各コースの基準価額は、為替相場が各コースの対象通貨に対して、円高方向に進んだ場合には、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。なお、円コースでは、為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。
- *資源国バスケット通貨コース(毎月分配型)においては、3通貨(豪ドル、ブラジルリアル、南アフリカランド)への実質的な配分は3分の1程度ずつになることを基本とします。ただし、投資環境、資金動向、為替の変動等により、実質的な通貨配分が3分の1程度ずつからカイ離する場合があります。

特色3 各コースにおいて、投資信託証券への運用の指図に関する権限をピムコジャパンリミテッドに委託します。

特色4 各コースは、原則として毎月20日に決算を行います。

・原則として、毎月20日(休業日の場合は翌営業日)に、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。また、分配金額は運用実績に応じて変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ

ファンドの目的・特色

ファンドの仕組み

・ファンド・オブ・ファンズ方式により運用を行います。

<投資対象ファンド>

ピムコケイマン エマージング ボンドファンド A - クラス J JPY(円)(円コースが投資します。)

ピムコケイマン エマージング ボンドファンド A - クラス J USD(米ドル)(米ドルコースが投資します。)

ピムコケイマン エマージング ボンドファンド A - クラス J EUR(ユーロ)(ユーロコースが投資します。)

ピムコケイマン エマージング ボンドファンド B - クラス J AUD(豪ドル)(豪ドルコース、資源国バスケット通貨コースが投資します。)

ピムコケイマン エマージング ボンドファンド B - クラス J BRL(ブラジルリアル)(ブラジルリアルコース、資源国バスケット通貨コースが投資します。)

ピムコケイマン エマージング ボンドファンド B - クラス J ZAR(南アフリカランド)(南アフリカランドコース、資源国バスケット通貨コースが投資します。)

ピムコケイマン エマージング ボンドファンド B - クラス J TRY(トルコリラ)(トルコリラコースが投資します。)

ピムコケイマン エマージング ボンドファンド B - クラス J CNY(中国元)(中国元コースが投資します。)

ピムコケイマン エマージング ボンドファンド B - クラス J IDR(インドネシアルピア)(インドネシアルピアコースが投資します。)

マネー・マーケット・マザーファンド

販売会社によっては、取り扱わないコースがある場合があります。詳しくは、販売会社にご確認ください。

「マネーブルファンド」について

ファンドの目的

わが国の公社債等を実質的な主要投資対象とし、利子等収益の確保をめざします。

ファンドの特色

特色1 ファミリーファンド方式によりマネー・マーケット・マザーファンドを通じて、わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保をめざします。

特色2 年2回の決算時(4・10月の各20日(休業日の場合は翌営業日))に分配金額を決定します。

・分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

分配金額の決定にあたっては、原則として分配を抑制する方針とします。(基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。)

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

ファンドの仕組み

・運用は主にマネー・マーケット・マザーファンドへの投資を通じて、わが国の公社債等へ実質的に投資するファミリーファンド方式により行います。

「スイッチング」について

・各ファンド間でスイッチングが可能です。スイッチングの際の購入時手数料は、販売会社が定めるものとします。また、換金するファンドに対して税金がかかります。販売会社によっては、スイッチングの取扱いを行わない場合があります。詳しくは、販売会社にご確認ください。

・マネーブルファンドの購入は、マネーブルファンド以外の各ファンドからのスイッチングの場合に限定します。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

投資リスク

基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。(次ページに続きます。)

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ

投資リスク

各ファンド(マネーボールファンドを除く)

価格変動リスク 一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、各ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

円コース

組入外貨建資産については、対円での為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。対円での為替ヘッジを行う場合で円金利が米ドル金利より低いときには、これらの金利差相当分が為替ヘッジによるコストとなります。ただし、為替市場の状況によっては、金利差相当分以上のヘッジコストとなる場合があります。

米ドルコース

組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いませんので、対円での為替変動の影響を大きく受けます。

ユーロコース 豪ドルコース ブラジルリアルコース 南アフリカランドコース トルコリラコース 中国元コース インドネシアルピアコース

為替変動 リスク

各ファンドの組入外貨建資産は米ドル建て資産ですが、米ドル売り、各ファンドの対象通貨買いの為替取引を行うため、各ファンドの対象通貨の対円での為替変動の影響を大きく受けます。

為替取引を行う場合で当該通貨の金利が米ドル金利より低いときには、これらの金利差相当分が為替取引によるコストとなります。ただし、為替市場の状況によっては、金利差相当分以上の為替取引によるコストとなる場合があります。

為替に関する取引規制等がある場合など、通貨によっては、取引量が少なく需給動向等の影響を受けやすいため、市場で取引もしくは公表されている金利と大きく乖離した金利水準をもとに取引されることがあります。このため、当該通貨の金利が米ドルより高いときであっても、為替取引によるコストが生じる場合があります。

資源国バスケット通貨コース

組入外貨建資産は米ドル建て資産ですが、米ドル売り、資源国バスケット通貨(豪ドル、ブラジルリアル、南アフリカランドを各々3分の1程度ずつ)買いの為替取引を行うため、当該バスケット通貨の対円での為替変動の影響を大きく受けます。

為替取引を行う場合で当該通貨の金利が米ドル金利より低いときには、これらの金利差相当分が為替取引によるコストとなります。ただし、為替市場の状況によっては、金利差相当分以上の為替取引によるコストとなる場合があります。

為替に関する取引規制等がある場合など、通貨によっては、取引量が少なく需給動向等の影響を受けやすいため、市場で取引もしくは公表されている金利と大きく乖離した金利水準をもとに取引されることがあります。このため、当該通貨の金利が米ドルより高いときであっても、為替取引によるコストが生じる場合があります。

信用 リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

流動性 リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

カントリー・ リスク

新興国への投資は、先進国への投資を行う場合に比べ、投資対象国におけるクーデターや重大な政治体制の変更、資産凍結を含む重大な規制の導入、政府のデフォルト等の発生による影響を受けることにより、価格変動・為替変動・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

マネーボールファンド

価格変動リスク 一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

信用 リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

流動性 リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ

投資リスク

その他の留意点

各ファンド(マネーボールファンドを除く)

・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

マネーボールファンド

・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

・ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のベビーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響する場合があります。

・投資環境によっては、マイナス利回りの公社債や金融商品等での運用となることがあり、この場合、基準価額の下落要因となりますのでご注意ください。

手続・手数料等

お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位 / 販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 マネーボールファンドの購入は、マネーボールファンド以外の各ファンドからのスイッチングによる場合に限り、 基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
換金単位	販売会社が定める単位 / 販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込不可日	次のいずれかに該当する日には、購入・換金はできません。 各ファンド(マネーボールファンドを除く) ・ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行の休業日 具体的な日付については、委託会社のホームページ(「ファンド関連情報」内の「お申込み不可日一覧」)をご覧ください。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受けたものを当日の申込分とします。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	各ファンド(マネーボールファンドを除く) 金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情(投資対象国における非常事態(金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等)による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少等)があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。 マネーボールファンド 金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。
信託期間	円コース(毎月分配型) / 米ドルコース(毎月分配型) / ユーロコース(毎月分配型) / 豪ドルコース(毎月分配型) / ブラジルリアルコース(毎月分配型) / 南アフリカランドコース(毎月分配型) / トルコリラコース(毎月分配型) / マネーボールファンド 2024年4月19日まで(2009年4月28日設定) 中国元コース(毎月分配型) / インドネシアルピアコース(毎月分配型) 2024年4月19日まで(2010年5月6日設定) 資源国バスケット通貨コース(毎月分配型) 2024年4月19日まで(2011年1月20日設定)
繰上償還	各ファンドについて、受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合、または各ファンドの受益権の口数を合計した口数が50億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。
決算日	各ファンド(マネーボールファンドを除く) 毎月20日(休業日の場合は翌営業日) マネーボールファンド 毎年4・10月の20日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	各ファンド(マネーボールファンドを除く) 毎月の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。 マネーボールファンド 年2回の決算時に分配金額を決定します。(分配金額の決定にあたっては、原則として分配を抑制する方針とします。) 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人受益者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ

手続・手数料等

ファンドの費用

各ファンド(マネーボールファンドを除く)

お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料 購入価額に対して、**上限3.24%(税抜 3%)**(販売会社が定めます)
(購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)

信託財産留保額 ありません。

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬) 日々の純資産総額に対して、**年率1.6416%(税抜 年率1.52%)**をかけた額
各ファンドが投資対象とする投資信託証券では運用管理費用(信託報酬)はかかりませんので、お客さまが負担する実質的な運用管理費用(信託報酬)は上記と同じです。

その他の費用・手数料 監査法人に支払われるファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についてもファンドが負担します。
上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。
なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

マネーボールファンド

お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料 ありません。

信託財産留保額 ありません。

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬) 毎月の最終営業日(委託会社の営業日をいいます。以下同じ。)の翌日から、翌月の最終営業日までにかかる運用管理費用(信託報酬)は、当該各月の最終5営業日における無担保コール翌日物レートの平均値に応じて、日々の純資産総額に対して、**年率0.594%(税抜 年率0.55%)以内**をかけた額
くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

その他の費用・手数料 監査法人に支払われるファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についてもファンドが負担します。
上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。
なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

本資料のご利用にあたっての注意事項等

本資料は、三菱UFJ国際投信が作成した資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。本資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ国際投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号

加入協会: 一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会

<ホームページアドレス> <https://www.am.mufig.jp/>

<お客さま専用フリーダイヤル> 0120 - 151034

(受付時間 営業日の9:00 ~ 17:00)

受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

<250770><250785><250799>

<250803><250817><250822><250836>

<250963><250977><251050><250840>

販売会社情報一覧表

ファンド名称: 三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ

商号	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
株式会社 阿波銀行(一部コースのみ取扱、インターネット専用)	登録金融機関	四国財務局長(登金)第1号				
株式会社 伊予銀行(一部コースのみ取扱、インターネット専用)	登録金融機関	四国財務局長(登金)第2号				
カブドットコム証券株式会社(一部コースのみ取扱)	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号				
株式会社 紀陽銀行(一部コースのみ取扱、インターネット専用)	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第8号				
ごうぎん証券株式会社(一部コースのみ取扱)	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第43号				
株式会社 山陰合同銀行(一部コースのみ取扱、インターネット専用)	登録金融機関	中国財務局長(登金)第1号				
株式会社 滋賀銀行(一部コースのみ取扱)	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第11号				
四国アライアンス証券株式会社(一部コースのみ取扱)	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第21号				
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第10号				
七十七証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第37号				
株式会社 十六銀行(一部コースのみ取扱)	登録金融機関	東海財務局長(登金)第7号				
中銀証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第6号				
とうほう証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第36号				
株式会社 南都銀行(一部コースのみ取扱)	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第15号				
八十二証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第21号				
株式会社 百十四銀行(一部コースのみ取扱、インターネット専用)	登録金融機関	四国財務局長(登金)第5号				
株式会社 三菱UFJ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号				
株式会社 三菱UFJ銀行(委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号				
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第33号				
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号				